

## 第1章 策定の趣旨

- ・ 策定の趣旨
- ・ 位置付け

## 第2章 上下水道事業の概況

- ・ 上下水道事業のあゆみ

## 第3章 現状と課題

- 1 経営環境の変化
  - 1－1 人口減少と節水意識の高まり
  - 1－2 財政・人材の制約
- 2 地震や大雨、その他の災害リスクなどへの備え
  - 2－1 大規模地震への備え
  - 2－2 頻発する豪雨への対応
  - 2－3 その他の災害リスクなどへの備え
- 3 施設の老朽化への対応
- 4 安全な水の供給
- 5 環境負荷の低減
- 6 国内外への貢献
  - 6－1 国際貢献
  - 6－2 周辺市町との広域連携
- 7 お客さまの理解と信頼

## 第4章 基本理念と将来像

- ・ 基本理念
- ・ 10年後の目指すべき将来像

## 第5章 重点施策と収支見通し

- ・ 重点施策
- ・ 長期収支見通し

## 基本理念（案）

# お客さまに信頼される上下水道

### ～安全・安心な水環境を次世代へ～

#### ○理由

本市の上下水道事業は、100年以上の歴史をお客さまからの理解と信頼を得ながら歩んできました。

現在、事業を取り巻く環境は、人口減少や水需要の低下などに伴う収入の減少が見込まれるなかで、施設の老朽化への対応や災害対策、技術の継承といった様々な課題に取り組まなければならない、大変厳しい状況に置かれています。

しかし、こうした中でも、お客さまにいつでも安心して飲むことができる水を届けるとともに、災害時においても市民生活を支える上下水道を維持することが、私たちの使命だと考えています。

これからも、この使命を全うし、安全・安心な上下水道事業を続けていくためには、お客さまからの「信頼」が最も重要であることから、この言葉を基本理念としました。

また、この計画を本計画期間だけでなく、さらにその先の将来も見据えた取り組みの第一歩と位置づけていることから、「～安全・安心な水環境を次世代へ～」をサブタイトルとしました。

## 目指すべき将来像(案)

### 1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる

- 上下水道の強靱化を推進し、災害に強い安全なまちづくりに貢献して、市民の生活を守る

### 2 いつでも安心して飲める水を届ける

- 高い技術を駆使し、いつでもお客さまに安心して飲んでもらえる水を届ける

### 3 環境負荷の低減を図り、持続可能な社会に貢献する

- 環境首都北九州市にふさわしい環境負荷に配慮した事業をこれからも実施していく

### 4 国内外へ貢献していく

- 北九州市の技術を国内外へ提供し、相互発展していく

### 5 お客さまが求めるものをかたちにする

- 多様化するお客さまのニーズを的確に把握し、施策に反映させていく

### 6 培われた高い技術を未来へつなぐ

- 100年を超える歴史のなかで培われた高い技術力を次世代へ継承していく

### 7 健全な経営を行う

- 人口の減少が見込まれる状況においても、お客さまへ質の高いサービスを提供するとともに、健全経営を維持していく

| 基本理念                                           | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 将来像（案）                                                                                                                                           |
|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| お客さまに<br>信頼される上下水道<br><br>～安全・安心な水環境を<br>次世代へ～ | <b>1 経営環境の変化</b><br>・水需要の減少に伴い、料金収入の減少が見込まれます。今後も安定的に事業を継続していくため、 <u>より一層の経費節減や増収対策に取り組み、経営基盤の強化を図る</u> 必要があります。<br><br>・今後、料金収入の減少や老朽化施設の更新に伴う施設整備費の増加が見込まれるため、将来を見据えて <u>収支バランスを維持する計画を立てる</u> 必要があります。<br><br>・水需要の減少による料金収入の減少が予測されるなかで、 <u>将来を見据えた料金体系のあり方を</u> 研究する必要があります。<br><br>・職員数が減少するなか、 <u>現状のサービスが維持できるように、業務の効率化や、見直しを検討する</u> 必要があります。また、多様化するニーズや、今後増加する施設の更新需要に対応するため、 <u>技術継承や関係団体との連携強化を図る</u> 必要があります。 | <b>6 培われた高い技術を未来へつなぐ</b><br>100年を超える歴史のなかで培われた高い技術力を次世代へ継承していく<br><br><b>7 健全な経営を行う</b><br>人口の減少が見込まれる状況においても、お客さまへ質の高いサービスを提供するとともに、健全経営を維持していく |
|                                                | <b>2 地震や大雨、その他の災害リスクなどへの備え</b><br>・大規模な地震が発生した場合でも、水道の安全で安定した給水、下水道の最低限の水処理機能を維持するため、防災・減災の観点から、 <u>引き続き、施設の耐震化やバックアップ機能の強化など</u> を図っていく必要があります。<br><br>・近年、局地化、集中化する豪雨から市民の生活を守るため、 <u>引き続き、効率的かつ効果的に施設整備を進めるとともに、市民の自助や地域による共助を促す観点から、ソフト施策を組み合わせた総合的な浸水対策を強化していく</u> ことが求められています。<br><br>・さまざまな災害リスクなどに備え、 <u>緊急時においても、安定給水、安定処理ができる体制を確保しておく</u> 必要があります。                                                                | <b>1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる</b><br>上下水道の強靱化を推進し、災害に強い安全なまちづくりに貢献して、市民の生活を守る<br><br><b>2 いつでも安心して飲める水を届ける</b><br>高い技術を駆使し、いつでもお客さまに安心して飲んでもらえる水を届ける  |
|                                                | <b>3 施設の老朽化への対応</b><br>・今後増加する上下水道施設の改築・更新需要に対応するため、 <u>引き続き適切な維持管理に努める</u> 必要があります。<br><br>・また、 <u>長期的な視点に立ち、上下水道施設の規模と機能の最適化を図りながら、重要度・劣化度</u> などに応じて計画的に改築・更新を進めていく必要があります。                                                                                                                                                                                                                                               | <b>1 市民生活を支える強靱な上下水道をつくる</b><br>上下水道の強靱化を推進し、災害に強い安全なまちづくりに貢献して、市民の生活を守る<br><br><b>2 いつでも安心して飲める水を届ける</b><br>高い技術を駆使し、いつでもお客さまに安心して飲んでもらえる水を届ける  |
|                                                | <b>4 安全な水の供給</b><br>・水安全計画の運用や、変動する水源水質への対策、カビ臭対策の強化などの検討とともに、 <u>国や水源地域などと連携し、水源の水質向上に取り組む</u> 必要があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | <b>2 いつでも安心して飲める水を届ける</b><br>高い技術を駆使し、いつでもお客さまに安心して飲んでもらえる水を届ける                                                                                  |
|                                                | <b>5 環境負荷の低減</b><br>・引き続き、資源の有効活用や省エネ機器の導入を進め、 <u>環境負荷の低減に努めるとともに、水環境向上のための取組をさらに進めていく</u> 必要があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <b>3 環境負荷の低減を図り、持続可能な社会に貢献する</b><br>環境首都北九州市にふさわしい環境負荷に配慮した事業をこれからも実施していく                                                                        |
|                                                | <b>6 国内外への貢献</b><br>・本市が一丸となって取り組んでいる「SDGs」の達成に向けて、 <u>17のゴールの一つである「安全な水とトイレを世界中に」をメインターゲットに引き続き取り組んでいく</u> 必要があります。<br><br>・北九州都市圏域の中核都市として、圏域全体に相乗効果が期待できる <u>上下水道事業の発展的広域化に、積極的に取り組む</u> 必要があります。                                                                                                                                                                                                                         | <b>4 国内外へ貢献していく</b><br>北九州市の技術を国内外へ提供し、相互発展していく<br><br><b>6 培われた高い技術を未来へつなぐ</b><br>100年を超える歴史のなかで培われた高い技術力を次世代へ継承していく                            |
|                                                | <b>7 お客さまの理解と信頼</b><br>・お客さまの理解と信頼を得るために、 <u>広報・広聴活動に努め、多様化するお客さまのニーズを的確に把握し、施策に反映させていく</u> 必要があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <b>5 お客さまが求めるものをかたちにする</b><br>多様化するお客さまのニーズを的確に把握し、施策に反映させていく                                                                                    |



記者発表資料  
(国土交通省と同時発表)

令和元年8月30日  
北九州市上下水道局

## 令和元年度国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）受賞について

～北九州市下水道 100 周年記念事業 有志職員による広報活動について～

- 北九州市上下水道局が応募していた、「北九州市下水道 100 周年記念事業 有志職員による広報活動について」が、令和元年度国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）「広報・教育部門」を受賞することとなった。同賞の受賞は平成 27 年度に続いて通算 3 度目となる。
- 表彰式は、9 月 10 日（火） 13 時 15 分から国土交通省中央合同庁舎 3 号館にて執り行われる。
- 出席者 北九州市上下水道局

### <「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」について>

同賞は、「健全な水循環、資源・エネルギー循環の創出」をコンセプトに、優れた取組に対し表彰が行われ、今年で 12 回目となる。毎年、「下水道の日」である 9 月 10 日前後に、表彰が行われている。

### <受賞案件の概要>

本市の下水道事業が平成 30 年に 100 周年を迎えたことを記念し、「北九州市下水道 100 周年記念事業」を実施。「下水道展'18 北九州」や「マンホールサミット in 北九州」など、約 20 の記念事業に取り組んだ。この記念事業の広報活動について、局内から意欲ある有志職員を募集し PR 隊（通称「あげ隊」）を結成。組織や職種の枠を越え、自由な発想とアイデアで下水道事業の PR 手法を企画するなど、下水道に対する市民理解の促進につなげた。（資料 1 のとおり）

今回、このような取組が評価され、国土交通省から「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」の「広報・教育部門」の受賞となった。

### <表彰式>

- 日 時：令和元年 9 月 10 日（火） 13：15～13：50
- 場 所：国土交通省中央合同庁舎 3 号館 10 階共用大会議室 A
- 出席者：北九州市上下水道局
- 次 第：（1）国土交通大臣挨拶  
（2）表彰状授与  
（3）グランプリ受賞団体挨拶  
（4）記念撮影

### <国土交通省報道発表>

資料 2 のとおり

<問い合わせ先>  
北九州市上下水道局下水道計画課  
担当：松本、平田  
電話：093-582-2480



令和元年度（第12回）国土交通大臣賞〈循環のみち下水道賞〉

## 広報・教育部門

北九州市下水道 100 周年記念事業有志職員による  
広報活動について

北九州市

本市の下水道事業は、平成 30 年に 100 周年を迎え、「下水道展 '18 北九州」や下水道施設見学会など、市民参加型のイベントを約 20 の事業を実施しました。

市民の方々に改めて下水道の役割や重要性を知っていただくための記念事業であるため、事業自体の PR も重要と考え、意欲のある職員を職種に関係なく局内から広く募集し「PR 隊」を結成、PR 隊のチーム名は、各メンバーが下水道や記念事業に対する想いや願いにより、「ありったけの下水道の魅力を伝え隊（ありったけの「あ」下水道の「げ」をとり、通称；あげ隊）」と決定しました。

33 名のチームを PR の内容や PR 媒体ごとに 10 人程度のチームに分けて活動し、「屋外 PR チーム」、「紙媒体チーム」、「メディアチーム」の 3 チームに分け、PR を展開しました。



## PR ポイント！

P R 隊による紙面や SNS の活用、チラシ配布によるイベント告知、こども下水道新聞への掲載などの活動は、大人から子どもまでわかりやすく下水道事業を紹介することができました。

P R 隊の活動を通じて、メンバーが、自身の担当以外の仕事内容について学ぶ機会が増えるなど、下水道への思いや仕事へのモチベーション向上などにつながりました。

## 取組の効果！

アンケートでは、9 割以上の方が下水道の仕組みや役割について理解が深まったと回答。特に、下水道の未来を担う子どもたちから、「下水道は見えないところでがんばっている『緑の下力持ち』」、など、発見や驚き、感謝の声など多くのコメントをいただいた。P R 隊はイベントの集客増や下水道に対する市民理解の促進に大きく貢献したと考えています。

## Key Person



上下水道局下水道計画課主査  
藤井 信也

「PR 隊」は、結成当初はとまどいもあったが、全体の企画会議は月に 2 回程度（計 12 回）、各チームのミーティングは毎週行い、メンバーが団結して自ら企画・立案した PR 事業を率先して実行することで大きな成果を上げたことは、これからの下水道技術を支える職員の人材育成に貢献できたものと考えています。

記念事業の期間にとどまらず、今回の活動経験を活かしながら、今後も継続して効果的な広報・PR 活動を実施し、下水道事業に対する市民の理解をさらに深めていきたいです。

グランプリ

イノベーション部門

防災・減災部門

アセットマネジメント部門

広報・教育部門

過去の受賞案件

同時発表：名古屋市、東京都、川崎市、  
埼玉県、北九州市

令和元年8月30日  
水管理・国土保全局下水道部

## 「循環のみち下水道賞」表彰式を開催！ ～創意工夫のある優れた取組を表彰します～

国土交通省は、令和元年度（第12回）国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」の受賞事例を決定しました。

表彰式は9月10日（火）に開催し、石井国土交通大臣から表彰状を授与する予定です。

国土交通省では、健全な水循環、資源・エネルギー循環を創出する「循環のみち下水道」に基づく優れた取組を、国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」として表彰しています。今年度は、名古屋市の「まちづくりの一翼を担い新たな価値を創出する露橋水処理センター」をグランプリに決定するほか、部門賞10件を決定しました。

受賞団体の功績を称えるため、下記のとおり、「下水道の日」である9月10日に表彰式を開催します。

### 記

1. 日時 令和元年9月10日（火）13時15分～13時50分

2. 場所 中央合同庁舎3号館 10階共用会議室A

3. 次第 （1）国土交通大臣挨拶  
（2）表彰状授与  
（3）グランプリ受賞団体挨拶  
（4）記念撮影

4. 受賞案件  
別紙のとおり。



5. その他

- ・国土交通大臣は公務の都合等により出席できない場合があります。
- ・報道関係者に限り、撮影が可能です。撮影を希望される方は、9月5日（木）までに「会社名」「氏名」「連絡先」を以下の問い合わせ先まで連絡ください。

### <問い合わせ先>

国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道企画課

企画専門官 吉田 敏章、企画調整係長 金子 陽輔、池田 拓司

TEL 03-5253-8111（内線34132、34133、34136） 03-5253-8427（直通）FAX 03-5253-1596



### 国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」とは

循環のみち下水道賞は、健全な水循環、資源・エネルギー循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組に対し、平成20年度に創設された国土交通大臣賞です。

社会経済情勢の変化に対応し、多様な面から社会に貢献した優れた事例を表彰し広く発信することで、受賞者の功績を称えとともに、他の多くの団体等でも同じ取組が行われ、全国的に「循環のみち下水道」が実現することを目指しています。

### 表彰式について

#### 1. 令和元年度(第12回)国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」表彰式について

令和元年度(第12回)国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」の受賞事例を決定いたしました。

表彰式は、令和元年9月10日(火)に開催し、石井国土交通大臣から各団体に表彰状が授与されました。



#### 2. 受賞団体の紹介

令和元年度は以下の11件、17団体が受賞しました。

##### ○グランプリ

| 受賞団体 | 件名                                                                                                                                             |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名古屋市 | <a href="#">まちづくりの一翼を担い新たな価値を創出する露橋水処理センター</a> (1,890KB)  |

##### ○イノベーション部門

現場における創意工夫や新技術の活用等の取組

| 受賞団体                                                     | 件名                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 鶴岡市、山形大学、株式会社日水コン、鶴岡市農業協同組合、水ingエンジニアリング株式会社、株式会社東北サイエンス | <a href="#">「じゅんかん育ち」を学校へ</a> (699KB)                      |
| 熊本市                                                      | <a href="#">下水道施設を活用した家畜排せつぶつのエネルギー利用と地下水保全</a> (820KB)  |

##### ○防災・減災部門

災害対策におけるソフト・ハード面の取組

| 受賞団体 | 件名                                                                                                                                           |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 埼玉県  | <a href="#">現場へ翔んで、クラウドでシェア！埼玉県下水道BCP訓練の実施</a> (843KB)  |
| 福岡山市 | <a href="#">総合的な治水対策 ～関係機関、市民総ぐるみの市街地浸水対策～</a> (903KB)  |
| 西脇市  | <a href="#">地域と一体となった浸水対策</a> (791KB)                     |

##### ○アセットマネジメント部門

施設の長寿命化や計画的な維持修繕、事業運営、人材育成に貢献する取組

| 受賞団体 | 件名                                                                                                                                       |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東京都  | <a href="#">30市町村とともに築き上げた半世紀―東京都流域下水道</a> (778KB)  |
| 福岡市  | <a href="#">国際貢献・国際協力は人材育成のチャンス！！</a> (702KB)         |

##### ○広報・教育部門

効果的な広報活動や環境・防災教育等の取組

| 受賞団体     | 件名                                                                                                                                                |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東松島市、熊本市 | <a href="#">運動会でマンホールトイレ ～遠く離れた2つの都市からの発信～</a> (763KB)       |
| 川崎市      | <a href="#">未来への夢多き中学生が「日職員に！ ～下水道のお仕事してみませんか～」</a> (871KB)  |
| 北九州市     | <a href="#">北九州市下水道100周年記念事業 有志職員による広報活動について</a> (745KB)     |